

あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM '90 4月号

*

平成2年度行事予定のご案内

*

平成2年の出版物

- ・博物館年報(13号)
- ・自然と文化(13号)
- ・ガイドブック(10号) 星空の12カ月
- ・資料シリーズ(37号) 湘南植物誌 N
—4月中頃に販売予定
- ・特別展図録(仮称)「イーハトーブ花巻・
くらしと文化」
- ・特別展図録(仮称)「タンポボと春の花」
- ・平塚市史 第9巻 古代・中世・近世
- ・新聞記事目録 第4集 大正11年~



●特別展(特別展示室)

- ・夏期特別展(仮称)イーハトーブ花巻・くらし
と文化(7月21日~8月30日)
- ・秋期特別展:第3回平塚市博物館公募写真展
(10月11日~11月5日)
- ・春期特別展:タンポボと春の花
(3月17日~4月22日)

●寄贈品コーナー

- ・新資料収蔵展(人文部門) 4月1日~
- ・〃 (自然部門) 5月1日~
- ・歴史部門(空襲と戦災) 6月~7月
- ・写真展(公募写真展) 8月1日~
- ・博物館実習生の展示 9月1日~
- ・サマー・セミナー展 11月
- ・民俗部門 12月
- ・須恵器・灰釉陶器展 1月16日~
- ・生物部門 3月1日~

●体験学習-申込み制

- ・裏打ち 6月
- ・草木で染めよう 8月
- ・星座早見を作ろう 9月
- ・紙すき 10月
- ・巣箱を作ろう 12月
- ・おかざりを作ろう 12月
- ・縄文土器を作ろう 2月6・7・8日

●その他

- ・サマー・セミナー申込み制 8月
- ・夏休み自由研究相談会-参加自由 7月と8月

●講座・調査研究会

- 古文書講読会-会員制
毎月第2・4土曜日 午後2時~4時
- 平塚の空襲と戦災を記録する会-会員制
毎月第3土曜日 午後1時~
- 石仏を調べる会-会員制 毎月第2・4土曜日
- 相模川を歩く会-会員制 毎月1回日曜日
- ナチュラリスト講座-会員制
毎月第2土曜日夜 午後6時~8時
- 土曜観察会-準会員制 毎月第2・4土曜日
- みんなで調べよう「環境庁／身近な生き物調査」
準会員制 4月~11月
- 漂着物を拾う会-会員制
毎月第1・2土曜日朝 午前6時~7時
- 星を見る会-参加自由
4月19日 水星と木星
7月22日 部分日食をみよう
8月9日 夏の星座と土星
10月26日 秋の星と木星
12月7日 火星と冬の星座
2月22日 月と木星をみよう
3月20日 春の星座と4惑星
- 天体観察会-会員制
4月14日 ガイダンス
5月中 オースチン彗星
6月17日 太陽
7月28日 ウォッキング
8月11日 ベルセウス座流星群
10月20日 オリオン座流星群
11月中 国立天文台
12月7日 ふたご座流星群
1月12日 ウォッキング
3月中 まとめ



●プラネタリウムの投影

- 5月6日まで ニュートリノが知っている
- 5月12日~7月15日 ねうき星がやってきた
- 7月21日~9月2日 宮沢賢治の双子の星
- 9月8日~11月4日 星の一生
- 11月10日~1月6日 流れ星の降る夜
- 1月12日~3月3日 時間をさかのばると
- 3月9日~5月7日 南十字星を追って

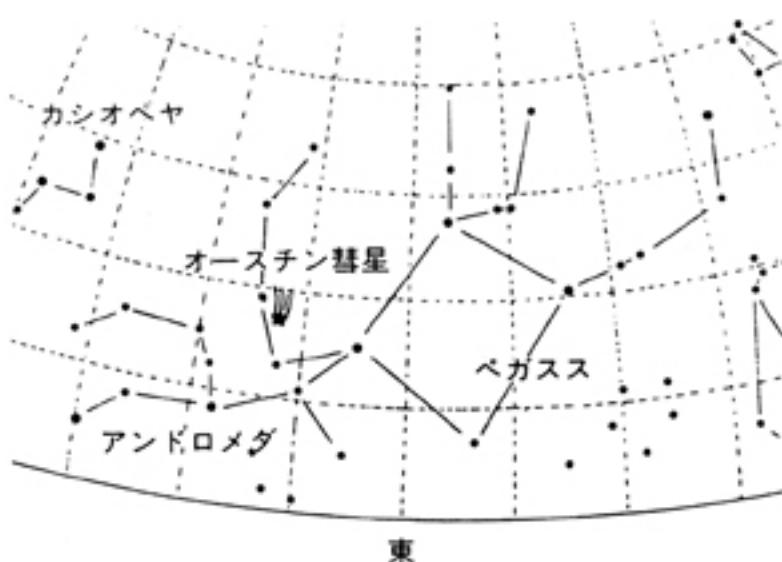
6月14日~7月14日 幼稚園・保育園向け投影
9月11日~12月中旬 学校投影

●利用案内

- 投影開始時刻(各10分前に開場します)

曜日	1回目	2回目
火曜日	学校専用	
水・木曜日	学校・団体専用	
土曜日	団体専用	14:00
日曜日	11:00	14:00
夏休み中等の 水木土曜日	11:00	14:00

- 観覧券 1人100円 当日9時より発売
- 所要時間 1回 45分
- 定員 86人
- 団体利用 20人以上の団体につき団体専用日にご利用いただくことができます。10日前までにご予約下さい。くわしくは博物館管理係まで。
- 乳幼児の観覧はご遠慮下さい。
- 休館日 月曜日、祝祭日、年末、年始



4月29日明け方のオースチン彗星の位置(3時20分ころ)

昨年12月に、ニュージーランドのオースチンが発見した新彗星は、その後の軌道計算から、かなり明るい彗星になることが予測されています。

オースチン彗星は、4月9日から10日にかけて太陽に最も近づきますが、この時の光度は-2等、ややひかえめに見積って0等ということですから、肉眼で見える大彗星となる期待がふくらん

ています。地球からは、4月上旬までは日没後のまだ明るい西の地平線に、4月中旬からは明け方の東の空に見えています。

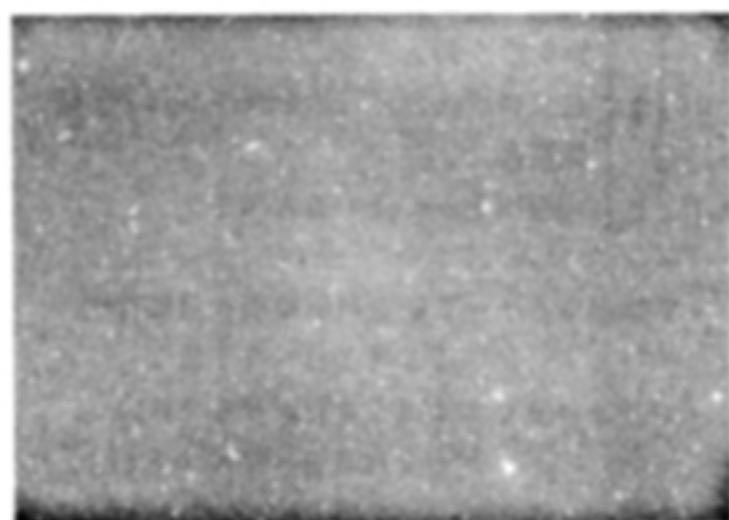
位置的に私たちから見やすくなるのは、4月末からゴールデンウィークころですが、彗星の姿は太陽に近い時の方が尾が発達することを考えると、もう少し早い時期の方が、よく見える可能性もあります。この頃、彗星はアンドロメダ座付近を移動中で、5月始めになるとペガスの四辺形の北に移ります。彗星が昇ってくるのは4月20日で午前3時ころ、4月30日なら午前1時30分ころ、ほぼ北東の地平線からです。北東の方角のひらけた、なるべく空の暗いところで眺めてみてください。

時間がたつほど彗星が高くなり見やすい位置になりますが、この季節4時前には空が明るくなってしまいますから、観察する時期と時刻をうまく選んでください。なお来月12日よりプラネタリウム投影のテーマとしてこの彗星をとりあげますので、ぜひご利用ください。 (沢村)

プラネタリウム投影話題

ニュー・トリノが知っている（3月10日～5月6日）

1987年、銀河系に隣接する大マゼラン雲で、超新星爆発をおこして一生を終えた星がありました。その姿は明るい輝きとなって地球にとどきましたが、光のほかにもうひとつ、そこからやってきたものがあります。それが、「ニュー・トリノ」と呼ばれる粒子でした。「ニュー・トリノ」は太陽の内部でも発生すると考えられていますが、きわめて小さく、軽く、他の粒子と反応もせず、したがって触れることも見ることもできません。が、それだけに、一度発生したならそのままいつまでも残り続けるともいえます。今月の投影では、このふしぎな粒子が宇宙においてはたしていると考えられる役割についてお話ししましょう。(沢村)



おとめ座の彼方にある銀河の群れ

ピックパン(宇宙の創生)時に発生した大量のニュー・トリノが、これらの形成に関与しているともいわれる。

行事案内

4月

7	土	漂着物を拾う会
14	土	土曜観察会／天体観察会ガイダンス
15	日	皆で調べよう "身近な生き物調査" ガイダンス
19	木	星を見る会 "水星と木星" / 皆で調べよう "身近な生き物調査" ガイダンス
21	土	平塚の空襲と戦災を記録する会ガイダンス／漂着物を拾う会
22	日	相模川を歩く会ガイダンス
26	木	裏打ちの会
28	土	石仏を調べる会ガイダンス

・寄贈品コーナー：新資料収蔵展（人文）
(4月1日～28日)

5月

12	土	古文書講読会ガイダンス／石仏を調べる会／土曜観察会（新聞作り）／ナチュラリスト講座
17	木	みんなで調べよう "身近な生き物調査"
19	土	平塚の空襲と戦災を記録する会／漂着物を拾う会
26	土	古文書講読会／石仏を調べる会／土曜観察会
27	日	相模川を歩く会（道志川）

・寄贈品コーナー：新資料収蔵展－自然部門－
(5月1日～27日)
・プラネタリウム：ほしき星がやって来た
(5月8日～7月15日)

●新資料収蔵展（人文部門）

最近寄贈された歴史・民俗・考古資料のうちから、特徴あるものを紹介します。
(4月1日～28日)

●星を見る会「水星と木星を見よう」

西空低い水星を見つけたり、望遠鏡で木星を観察します。
日時：4月19日（木）18時～20時
場所：博物館科学教室・屋上
参加自由。当日科学教室にお集まりください。

沢山のご応募ありがとうございました。平成2年の足並みが揃ったところで、年間行事予定を特集しました。

2年夏の特別展は、「イーハトーブ花巻・くらしと文化」を企画しました。雪降る街の暮らしの知恵や、そこではぐくまれた文化のさまざまな形を紹介したく、担当者はすでに活動を始めました。同じ期間にプラネタリウムが、宮沢賢治の双子の星をとりあげるのも、心意気は同じです。昨年開講した平塚の空襲と戦災を記録する会は、1年間の成果を寄贈品コーナーに展示します。戦火を浴びながら焼け残った1本の電信柱が、まだ立っている話は、充分に感動的です。新しく始まるのは"漂着物を拾う会"です。海からどんな物がやってくるでしょうか。星を見る会は、今年、天候にめぐまれるでしょうか。ここだけの話、会があるというと晴れた空に雲が湧き雨が降り出し、中止にすると、いつの間にか星がお出ましになる－不思議。心配して担当の鷹さんや沢村さんが高麗山の上の空を見る度に、"夜なんか待ってないで、早いとこやっちはよ"なんて声がかかることになるわけでした…。

新会員の中に、強力な晴れ男もしくは晴れ女が居てくださるように、祈っております。

さあ、スタートです。年間予定をご覧になってお心づもりしていただけたら幸甚です。（和田）